

# 産業建設分科会委員長報告

(令和5年3月22日)

産業建設分科会に付託されました議案について、審査の経過概要とその結果を報告します。

まず、**第1号議案、令和5年度一般会計予算の本分科会所管分**であります。その主なものは、

- ・**総務費**では、地域ニーズに即したコミュニティバス、ふるさとバスをはじめとする市内公共交通における利便性の向上や、地域主体型交通の支援における、交通空白地域の解消及び交通ネットワークの構築等を図るためのバス交通関連事業
- ・**労働費**では、オンラインスキルアップ支援など雇用対策のための就労支援事業
- ・**農林水産業費**では、オーガニックビレッジ宣言に基づき、有機農業学校による育成プログラムの実施や、有機JASの認証支援、土壌分析に係る費用の支援など、有機農業の推進を図り、持続可能な食と農を生産から消費まで食料システム全体で進めていく

取組をはじめ、ふるさと納税の返礼品として人気のある「亀岡牛」のブランド振興を強化するなどの畜産振興事業や、豊かな森を育てる森林環境を整備するため、森林経営管理制度の推進や、林業機械の導入を支援していくとともに、「ウッドスタート宣言」に基づき、幼少期から木に親しめるように、木材を活用した木育おもちゃ等を新生児に誕生祝品として贈呈する取組などの森林活用推進事業

- ・**商工費**では、次代をリードする新産業を創出するまちを目指すため、京都先端科学大学、亀岡商工会議所との産学公連携拠点「オープンイノベーションセンター・亀岡」の整備運営や、サンガスタジアム by KYOCERAをフィールドとする新たなビジネスモデルの創出を支援し、企業の立地を促進することによる地域経済の活性化と雇用機会の創出、ものづくり産業の振興、商店街等のにぎわいづくり事業をはじめとする各種事業など、商工業振興対策事業。また、光秀公のまち、豊かな自然、文化、食などを生かした観光振興については、フィルムコミッションによる世界を見据えたシティプロモーションの取組や50回目を迎える亀岡光秀まつりをは

じめとする各種事業の実施、さらにトロッコ亀岡駅南側の整備により、にぎわいづくりと利便性の向上に取り組む観光推進事業

- ・**土木費**では、活気に満ちた都市活動と安全・安心で快適なまちづくりを支える強靱な道路や橋梁、河川等の整備事業や、緑がもたらす快適で豊かな暮らしがあるまちづくりを推進するため、令和8年に「(仮称)全国都市緑化フェア in 京都丹波」の開催に向けて、南丹市・京丹波町を含む2市1町と京都府が連携・協力し、事業を推進するための公園緑地整備事業および緑花推進事業

- ・**災害復旧費**では、農業・林業用施設の復旧事業であります。

採決の結果は、賛成多数をもって原案可決すべきものと決定しました。

なお、**指摘要望事項**として、オープンイノベーションセンター・亀岡について、産学公の連携により、事業の目的である雇用の創出や企業誘致につながるよう取り組まれるとともに、今後も進捗状況を適宜委員会に報告するよう指摘要望するものであります。

次に、第6号議案、令和5年度 土地取得事業 特別会計予算は、京都・亀岡保津川公園用地取得分のうち、市道保津宇津根並河線の拡幅部分の買い戻しによる、売り払い収入を一般会計に繰り出しするものであり、別段異論なく、採決の結果は、全員をもって原案可決すべきものと決定しました。

次に、第8号議案、令和5年度 水道事業会計予算は、市民生活と都市機能を支えるライフラインとして、安全でおいしい水の安定供給を行うため、老朽管耐震化工事や南丹市への水道用水供給事業などが主なものであり、採決の結果は、賛成多数をもって原案可決すべきものと決定しました。

次に、第9号議案、令和5年度 下水道事業会計予算は、年谷浄化センター改築更新工事をはじめ、同センターにおいて発生する消化ガスを再生可能エネルギーとして、官民連携により発電事業に活用する取組や農業集落排水施設を公共下水道に施設統合するため

の実施設計業務など、公共用水域の水質保全と生活環境の改善を図るための事業が主なものであり、別段異論なく、採決の結果は、全員をもって原案可決すべきものと決定しました。

以上、簡単ではありますが、本分科会の報告といたします。